



ゼルビア頑張れ

森田 卓子
(東京)

ジム通ひ三年となりゼルビアのオーラが凄い選手に出会ふ

サッカーのファンでなかつたわたくしが一目惚れした藤本選手

「ゼルビアの応援に行こう」イベントに歳を忘れてわれ参加する

屋根のない席ゆゑカッパが必要とメールが届く雨の観戦日

借りてきた息子の青い雨合羽大きいけれど着て応援す

「ゼルビア」は櫻の英名、町田市の並木の木なりゼルビア頑張れ

周辺に古戦場多き野津田ここ今日ゼルビアがピッチでたたかふ

雨のピッチ走る背番号22の藤本選手をわれは目で追ふ

観客数一万二千の一人なりわれ声を張り応援歌うたふ

雨の中ボールを追つて躍動すされど負けたり町田ゼルビア

キーパーのミスで負けしが対戦のフロンターレはやつぱり強い

雨にぬれ選手を指揮した監督が小さく見えた今日の負け試合

四対一で負けてしまつた選手たち観客われらに一礼をする

天空の城なるスタジアム後にして雨の鎌倉古道を帰る

冷え切つた手足を伸ばし入浴す今夜のバスボムは森の香りで

このごろの私

後期高齢者になってから三年余りスポーツジムに通っている。サッカーや水球などのアスリートに出会うこともあり、若さと鍛えられた体の見事にしばしば見惚れてしまふ私である。



七十で始まる暮らし

栗山 貴臣
(福岡)

このごろの私
今年は初めてトマトを植えてみた。二十個ほどの可愛らしいトマトが口に入って、十一月末現在まだ黄色の花を咲かせている。朝の水遣りが日課となった半年間は思いがけず楽しく過ごせた時間でもあった。

古希となる一つ区切りの仕事終え楽しみ探す明けて三月

終わることありて始まることもある語学と短歌が終の始まり

中国語を習い始めて十年後に偶然知りぬ短歌の世界

還暦で始めた短歌締め切りに追われる日々は現役のまま

人生の喜怒哀楽に加えない二文字がある「寂」と「苦」の文字

十四で買った土産は「忍耐」の文字が書かれた一枚の盾

正月に帰省をすれば父母は引越した後 冬日ながめる

六十の母から癌の知らせ来て仕方ないねと言うしかなかった

中国の留学生と知り合った六十代の日々の楽しさ

ビザ免除再開されていざゆかん中国に住む友だち思い

三年間会えないままの友だちに気安く送るおやすみの文字

お互いに自国の言葉教えあう ネットが救う趣味と実益

ウォーキングは趣味ではなくて毎日のノルマとなりぬ老いの生活

川沿いをめぐりつつゆく紅葉が広がり猫もいる遊歩道

七十で始まる暮らしもこれまでと同じ楽しみ語学と短歌